

病児保育事業の 状況と実施箇所の 増設は



日本共産党
津山市議団
美見みち子

子育て支援

問 子ども・子育て支援事業のうち、病児保育事業の状況は。

答 病児保育事業は、病気で保育園に行けない子どもを親が仕事で看ることができない場合などに、医療機関等の専用スペースで預かる事業である。現在、1カ所の医療機関で実施し、平成26年度の利用は延べ666人。

問 病児保育事業は保護者の希望も多いが、対応する医療機関を増やせないか。

答 病児保育事業の実施箇所の増設は、第5次総合計画の主要事業に位置付けている。事業実施に意欲を示される医療機関もあり、具体的な設置に向けて協議中。早期の増設に向けて取り組む。



【その他の質問項目】

- ◆介護保険と「新総合事業」への移行について
- ◆国民健康保険について

3人目からの 保育料が無料に！



緑風会
秋久憲司

子育て支援

問 市独自の制度で3人目からの保育料を無料とするが内容は。

答 国の所得制限や年齢制限を撤廃し、すべての保育園・幼稚園・認定子ども園の第3子以降の保育料を無料とする。



福祉

問 要支援1・2の改善が見込まれる方へのサービスは。公会堂・民家利用など多彩な活動があってもいいのでは。

答 生活支援サポーターによるサービスの新しい

文化

設や、個人にあった機能訓練を実施、住民同士が交流できるサロンやカフェ的なものを地域と一緒に検討していく。

問 美術館の整備に向け、準備室や美術学芸員を採用し活動の開始を！

答 事業の進展を見極めながら早期の体制づくりを検討し、学芸員を確保し市民的な盛り上がりを図りたい。

【その他の質問項目】

- ◆グラスハウスの運営について
- ◆施政方針について（経済の地域内循環等）

城下地区にぎわい 再生事業



津山新星会議
吉田耕造

まちづくり

問 津山国際ホテル移転新築計画は、中心市街地活性化の起爆剤になると思うが、市長の考えは。

答 ホテルの存廃は、活性化に大きな影響を与える認識している。新ホテル建設と多くの歴史的資産を連携させ、津山の特性と魅力を活かした、まちづくりを進めていく。

問 ホテル移転新築計画は、事業の性質、経営主体、市の関わり、全てにおいてアルネ再開発事業とは違う事業である。なぜ「アルネ」との違いを説明するのか。

答 アルネを含めた過



新津山国際ホテル入り口のイメージ

去の大型事業の反省があることをご理解いただきたい。新ホテル建設計画に対し、津山市は出資や役員派遣などを行わない。補助金については、国の制度に基づき負担のみである。

【その他の質問項目】

- ◆施政方針について（子どもの貧困等）